

Build Live Kobe 2011 の審査方針について

1. 審査方針

Build Live Kobe 2011（以下 BLK2011）では、以下の観点から審査を行います。

- ・ BIM に取り組むことで、計画案がどのように良くなっていったのかプロセスを示し、BIM によってはじめて達成できた計画案であることを明確に説明している
- ・ 計画案が、建築としての美しさ、暮らしやすさ、構成の良さ、性能の良さ、エンジニアリング的な妥当性を持つ
- ・ BIM 活用によって、新たな建築設計の提案をみせている
- ・ IFC データ交換の活用度、またプロセスにおける BIM データ関係の充実度

2. 提出物

提出物は以下の通り。

a. BLK2011 開始前の事前提出物

- a-1. チームメンバー紹介、取り組み方針のアンケート提出（所定書式への記入）

b. BLK2011 中の提出物

- b-1. ゾーニング終了段階の IFC データのアップロード
- b-2. ポイントになる中間データのアップロード

c. BLK2011 終了時の提出物

- c-1. 計画案の概要に「BIM であるがゆえに良い計画案ができた」ということを明確に表現する。また、省エネへの取り組みを説明する（所定書式へ文章で記述）
- c-2. チームで特にアピールしたい取り組みを説明するプロモーション資料。ムービーファイル（3分以内、50MB程度）あるいは、PPT等（3分以内のスライドショー）
- c-3. 所定のパースを指定のファイル名でアップロード（視点、画角は別途指示）
- c-4. 指定仕様の IFC データ、利用 CAD のネイティブデータのアップロード
- c-5. データフロー図、取り組みのチェックリスト提出（所定書式へ記入）
- c-6. その他の成果物データのアップロード

d. 終了後の提出物

- d-1. プロセス記録：チームの主張を体現する判断など、象徴的な取り組みを明確に表現し、プロセスを記録すること（所定の一覧表書式への記入）
次に類する事象を記録する：判断や選択とその理由。モデル作成、解析やレンダリング、検証、データ移動や変換、アップロードなどの作業について、内容、開始時刻、終了時刻、所要時間、顛末。b-2、c-6 でアップロードしたデータの説明はここで行う。

3. 審査方法

- ・各チームの特徴的な BIM の取り組みを、「取り組み方針」、「プロセス記録」および「プロモーション資料」などによって把握し審査します
- ・計画案の提案内容や新規性について審査します
- ・特に際だつ BIM 活用手法などを評価します
- ・提出されたチェックリスト、データフロー図を審査します。また、提出された IFC データの適合性を下記の審査ポイントで評価します。

審査ポイント：

- ・事前公開している IFC チェックツールを用い、提出された IFC ファイルが指定仕様と一致しているかチェックし、モデリングガイドに沿った操作をしているか確認する
- ・設計要件通りの IFC スペースが含まれ、面積が妥当であることを確認する
- ・シミュレーションなどへの活用が可能な情報を加えた IFC データか確認する
例：スペースのグラフ構造検討、温熱シミュレーションなど
- ・BIM データ連携を多方面に活用しているか確認する

4. 参加チームによる投票

参加チームは他チームの取り組みに対して、持ち点を投票します。1 チームだけに投票することも、複数チームに、持ち点分を分散して投票することもできます。

5. 総合評価

以上を、総合的に判断し、審査委員会による審査および IAI による技術的な審査をとりまとめます。

以上